



発行/2016年8月29日  
 グリーンコープひろしま理事会  
 広島市安佐南区緑井1-28-47  
 TEL(082)831-1503 FAX(082)870-1800  
 組合員数 20,364人  
 出資金積立金総額 873,113,844円(6/20現在)

日々の活動の様子は  
 こちらをご覧ください。👉👉👉

●グリーンコープひろしま 活動ブログ  
 「げんきくんのわくわく日記」  
<http://blog.goo.ne.jp/greencoop-77>

●Facebook: グリーンコープ生協ひろしま  
<https://www.facebook.com/gchiroshima/>

●グリーンコープひろしまHP  
<http://www.greencoop-hiroshima.or.jp/>

## 地域にもっと広がれ、グリーンコープ

～2016年度も、様々なイベントに出展し地域の人々にアピールしています～

### ●子育て応援団 すこやか2016

5月21日(土)、22日(日) 広島グリーンアリーナ

グリーンコープを多くの方に知っていただくため、今年度も出展しました。着ぐるみの“元気くん”も登場し、来場者の皆さんに産直びん牛乳を味わっていただきました。皆さんからは、「これおいしい!」「私、グリーンコープやっています♪」「グリーンコープってなに?」といろいろな声を直接聞くことができました。また、玉ねぎの収穫体験コーナーや、風船、元気くんぬり絵は子どもたちにも好評でした。皆さんの笑顔いっぱい!ありがとうございました!グリーンコープを知っていただき、おいしい♪を実感していただけたと思います。これからも、もっと多くの方にグリーンコープを知ってもらいたいです。グリーンコープの輪 広がれ～♪ (理事会 坂本)



### ●ピースフェスタ三次2016

5月28日(土) みよし風土記の丘

今年も、自然の中でゆったりとできる「ピースフェスタ三次」に参加しました。みどりのステージやワークショップ、手作り品などの買い物を楽しんだり、安心でおいしいごはん、おやつや飲み物でお腹も満たされました。グリーンコープのコーナーにも組合員の皆さんがたくさん来てくださり、産直びん牛乳も多くの方に試飲して頂きました。「おいしい!」と好評でした。お楽しみのガラポン抽選会は、皆さんとお話するきっかけになり、グリーンコープ自慢のマヨネーズや無添加ラップなどの商品が当たり、喜ばれました。会場に来られた方はグリーンコープの事を知っている方も多く、せっけんの実演も興味を持って見ていただきました。食や環境に対する意識の高さも感じました。地域の方に直接お会いし、グリーンコープの良さをお話しすることができました。参加した方々にも喜んでいただき、とても良かったです! (理事会 砂本)



### ●子連れで働くママのイキイキ☆緑party2016 6月5日(日) 住宅宣言吉島

グリーンコープのテントは、総合受付の近くにあるお楽しみコーナーで、産直びん牛乳の試飲とグリーンコープ商品が当たるガラポン抽選会、風船のプレゼントを行いました。雨が降ったり止んだり、一度に沢山の方が来られることはありませんでしたが、住宅展示場という場所柄、アンケートにも沢山の方に答えていただきました。アンケートの後はお子さんがガラポンに挑戦! 1等トマトケチャップ、2等無添加ラップ、3等オリジナルバッグ、4等おふろのしゃぼん固形、5等ポケットティッシュ&チャック袋という、魅力的なグリーンコープ商品かかなりの確率で当たってお母さん方にも喜んでいただきました。産直びん牛乳も、皆さんに「おいしい!」と言っていただき、中でも牛乳が嫌いだというお子さん2名に試してもらったところ、「これなら飲める!おいしい!」と嬉しそうでした。イベントステージやワークショップなども行われていたので、その合間にグリーンコープのコーナーにお立ち寄りいただけよかったです。まだまだグリーンコープを知らない方もたくさんいらっしゃるようです。どんどん子育て世代の方にも広がっていくといいなと思いました。 (理事会 高尾)



# 首長メッセージの取り組み

グリーンコープは、せっけん派生協として全国にあるせっけん派生協とともに「せっけん運動ネットワーク」に参加しています。『首長メッセージの取り組み』は、「せっけん運動ネットワーク」がシャボン玉月間の取り組みの一つとして毎年行っている運動で、グリーンコープが環境についてどのような取り組みをしているかを自治体にお伝えし、各自治体で行われている環境についての取り組みを学ぶと同時に、各首長から環境を守る運動に対するメッセージをいただく取り組みです。

今年度も、くらし全体会と各支部のくらし担当理事が自治体を訪問し、メッセージをいただくことができました。

訪問日程：5月10日(火) 廿日市市(西支部担当)

6月 1日(水) 府中町(中央支部担当)

6月 3日(金) 尾道市(福山支部担当)

7月11日(月) 呉市(東広島支部担当)

今年度の取り組みでは、訪問した廿日市市、府中町、尾道市のほか、東広島市からもメッセージをいただくことができました。残念ながら提出締め切り日の関係で今年度は福山市、呉市からのメッセージをいただくことができませんでしたが、福山市からは「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」の取り組みに向けて、後援<sup>※</sup>をいただくことができました。

※せっけん運動ネットワーク機関紙(せっけん運動)の“メッセージ特集号”に後援をいただいた市名として掲載されます。

(くらし全体会)

## 廿日市市

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」応援メッセージ

廿日市市長 眞野 勝弘

廿日市市は、北は西中国山地、南は穏やかな瀬戸内海に囲まれた自然豊かなまちです。世界遺産を擁する宮島は、我が国を代表する観光地であるとともに、原生林の残る自然豊かな島でもあります。また、絶滅危惧種ミヤジマトンボの生息する一部湿地は、ラムサール条約に登録されております。

市では、「豊かな自然を次世代へつなぐまち」を目指し、環境保全活動の充実に取り組んでおります。

貴会の「せっけん運動」は、水環境を守るために実践できる身近な環境保全活動として、大変意義深い活動であると考えます。長年にわたるご尽力に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪が今後ますます広がり、美しい自然環境が次世代へ引き継がれることを願っております。



廿日市市訪問の様子

## 府中町

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」よせて

府中町長 佐藤 信治

府中町は、周りを広島市に囲まれた、東西4.18km、南北5.2kmのコンパクトな町域の中に、太田川の支流である府中大川などの一級河川、そして、町の北部には森林地帯を有し、商工業も盛んな人口が51,000人を超える自然と住環境のバランスがとれた町です。

当町は、本年度から「ひと・まち・自然が共に生き、心豊かにくらし まちあきふちゆう」を目標像に掲げた第2次環境基本計画がスタートし「自然と共生する快適環境の推進」を基本方針の一つとして、良好な自然を次世代に引き継ぐ施策を推進することとしています。

計画の策定に際し、小学生を対象に行ったアンケートでは、「川で遊べるなら遊びたい」と80%以上の子どもたちが回答し、きれいな川への関心は高く、貴会が推進する「石けん運動」は、これからの良好な自然に貢献する大変有意義な活動であり、かつ、今までの長きにわたる活動に敬意を表すものでございます。

貴会の身近な環境を守る活動の輪が一層広まり、ますますご活躍されることを心よりご期待申し上げます。



府中町訪問の様子

## 尾道市

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて  
尾道市長 平谷 祐宏

尾道市は、瀬戸内海のほぼ中央に位置し、緑豊かな北部丘陵地域から多島美を有する瀬戸内海地域に至る、自然環境に恵まれたまちです。また、しまなみ海道をはじめとする新たな魅力と歴史・伝統に育まれた資源を活かし、他にはない魅力的な価値を持つまちづくりを推進しています。

本市では、豊かな自然・生活環境を守っていくために、「尾道市環境基本計画」に基づき、市民・事業者・行政を主体として環境保全に関する施策を推進しているところです。

こうした中、貴会が、安心・安全な水環境を保全する活動の一環として、人と環境にやさしい「せっけん運動」に取り組まれておりますことは大変意義深いものであり、心から敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がりますようご祈念申し上げます。



尾道市訪問の様子

## 東広島市

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて  
東広島市長 蔵田 義雄

広島県中央部に位置する東広島市は、内陸部から沿岸部まで、美しく豊かな自然環境に恵まれたまちです。中でも西条町は、灘、伏見に並び称される銘醸地の一つとして知られており、複数の川の源でもある「水の生まれるまち」です。

この豊かな水環境を次世代に引き継いでいくため、本市では公共下水道の整備や合併処理浄化槽の設置を推進する等の施策を推進し、環境学習の面からも、市民一人一人の意識向上を目的に、河川の水質改善に繋がる啓発活動にも取り組んでいます。

せっけんを通じ、環境問題に広く目を向ける貴会の活動に敬意を表するとともに「せっけん運動」が多くの地域に広がり今後益々、貴会が発展されますことをご期待申し上げます。



## 『日本と原発4年後』上映会を行いました。

6月29日(水) 西区民文化センター

この映画は、弁護士の河合弘之さん(製作・監督)による、2時間18分のドキュメンタリー映画です。

映画の冒頭では、東京電力福島第一原発事故の当時の映像や被災者の方の発言を交えて、福島の方たちの苦悩や憤りが自然な言葉で引き出されていました。飯館村から避難した菅野栄子さんの「フレコンバック(除染用の黒い袋のこと)の中に入った自分が丹精して作ってきた有機肥料はどこへ行くんだべか。」と心配する言葉が心に残りました。

また、原発の難しい図解や専門用語などもホワイトボードを使って分かりやすく説明されています。さらに、原発内部をCG映像で詳しく解説していて、参加者の一人は「私、この映画で初めて『メルトダウン』が何なのかということが分かりました。」と話していました。

一方で、この映画には推進派の方のインタビューも取り入れられていました。評論家で元原子力委員会の委員だった木本教子さんの「原発は必要よ。」との発言がそのまま使われていますし、原子力委員会委員長を務めた近藤俊介氏にも話を聞いています。映画の中で被災者についてどう思うかと問われた近藤氏は「原発は絶対に安心、安全と説いてきた立場としては、大変申し訳なく思っている。」と発言しています。

各地の裁判の様子や採決の様子も映されていて、「司法は生きていた」の垂れ幕など、ニュースで見た映像もたくさんありました。

3・11の被害などはニュースで流されなかったような悲惨な映像も混じっていました。何より、当時の東電社長・管首相・枝野官房長官のコメントと、同時刻の原発の実際の状態を交互に映像で見せることで、誰がどんな風にごまかしていたのかがよくわかりました。

まさにこの映画は、原発を告発するための映画です。それなのに決して見るのが嫌になるような映画ではなく、原発立地地域の美しい景色と住民たちの日常風景も描かれています。最後には、ヨーロッパの自然エネルギー設備の見学に行く様子をレポートすることで、再生可能エネルギーという未来のエネルギーの形を私たちに示し、希望を与えています。20年も前から原発訴訟に参加し、3・11を経て、河合氏にとってこの映画は「脱原発の戦いに勝つための〈訴状〉なんです。」と断言されています。

多くの人に見てもらいたい映画です。



(くらし全体会委員長 大窪)

## 2016年度 **グリーンコープ** 自生ナタネ汚染調査報告会

場所：博多バスターミナル9F大ホール

6月20日（月）博多で行われた「自生ナタネ汚染調査報告会」に参加しました。GMとは、Genetically Modifiedの略で、『遺伝子組み換え』という意味です。作物や生物の遺伝子に他の遺伝子を入れ、人間の都合のいいように作り変える技術のことをいいます。例えば耐除草剤（雑草のみ枯れて作物は枯れない）や虫を寄せ付けなくすること、早く成長させること、酸化しないなどです。様々な技術が日々進化しています。そんなGM作物は海外（主に米国、南米）で栽培され、日本ではトウモロコシ、大豆、綿、ナタネを輸入しています。それらを加工したり家畜の肥料にしたりして約80%の食卓に出回っているそうです。

グリーンコープでは輸入の荷揚げ港を中心にそれらを運搬する沿線で自生ナタネの調査をしています。GM作物が運搬中にこぼれ落ち自生ナタネと交配し、GMナタネになります。福岡の調査では毎年、陽性が出ています。ひろしまでは今年の3月下旬に10ヶ所で調査し、そのうち福山市内で採取した3検体、東広島市の1検体に擬陽性（陽性の疑い有り）が出ました。GM汚染が広がりつつあると感じています。

『何を選んで食べるか、私たちには1日3回も世の中を変えるチャンスがある』と講師の天笠啓祐さん（科学ジャーナリスト）がおっしゃっていました。

便利さや見た目、価格優先の『遺伝子組み換え』のものを選ばないことが生物のありのままを守ることになります。

グリーンコープでは遺伝子組み換えに反対し、これからも自生GMナタネ調査を続けていきます。

（理事会 田邊）



## 2016年度 **GMナタネ自生調査全国報告会**

遺伝子組み換えナタネの汚染を止めよう ～地域から遺伝子組み換え作物を考える～

7月2日（土）東京で行われた「GMナタネ自生調査報告会」に参加してきました。

この会は、GMナタネが広がることに不安を感じる全国の団体が集まり、それぞれの調査の結果を報告し合い、また学び合ってこれからの活動の糧にすることのできるとても貴重な場です。今回はグリーンコープ生協の代表としてひろしまでの調査の報告をしてきました。

幹線道路や線路沿いに不自然に咲いているナタネを見ることがありませんか？そういうものの中には、遺伝子操作されたGMナタネが混じっている可能性があるそうです。ひろしまでも、2005年から継続的に行っているナタネ調査ですが、今回、簡易検査で疑わしいナタネを発見しその様子について報告してきました。この疑わしい判定が出たナタネについては、現在、二次検査を依頼しています。正確な判定が出たら、次回のかわらばんを通じて組合員のみなさまにもお知らせできればと思っています。

また、大江正章さん（コモンズ代表、ジャーナリスト、アジア太平洋資料センター（PARC）共同体代表）による講演「地域から遺伝子組み換え作物を考える～脱成長と田園回帰～」もお聞きしました。ここでは、都市に住む住民の中で農山漁村地域への定住願望のある人が都市を離れ就農することで、活性化している地方都市が存在していることを教えていただきました。そういう人は有機農業について興味を持ち、GMとは無縁の在来品種を栽培することが多いということです。このことは、GM作物について不安を抱いている私たちにとって魅力的なお話だと感じました。

今回の報告会に参加し、わたしたちの住んでいるこの地域に遺伝子操作した作物はほしくない。また、私自身や子どもたちの口にも入れたくないと改めて思いました。でも、悲しいことに地球上には存在するし、日本にも入ってきていることを痛感しました。

私たちにできることは、これ以上GM作物が広がらないように活動をしていくこと、またGM作物はいらないと声を上げていくことだと思っています。地道な活動ではありますが、続けていきましょう。

（副理事長 反岡）



# やまなし自然塾視察交流会

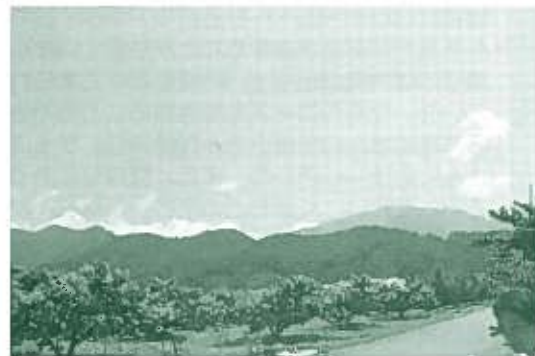
2016年  
7月13日～7月14日  
山梨県

BMW技術活用や新しい農業技術に取り組まれている「やまなし自然塾」の視察交流会に参加しました。山梨県はぶどう、桃ともに生産量一位の、山に囲まれた海のない県です。「やまなし自然塾」は、1991年9月に山梨自然学研究所の向山茂徳さんの呼びかけにより設立されました。当初の会員は5名で、現在は57名で地域のリーダーシップをとられる方を中心にした異業種のグループです。「やまなし自然塾」の周辺は昼と夜の気温の差が大きく、傾斜地が多く、水はけが良いことから、果樹栽培が盛んな自然豊かな地域です。3階建ての古民家が今も残り、以前は1、2階を生活の場、3階を養蚕に使われ、桑の栽培や水田がとて多かったそうですが、次第に養蚕も衰退し、桑畑や水田は桃やぶどうの畑に変わってきたそうです。今年も関東地方をはじめ、山梨県も雨が少なく、収穫量がとても少ないようですが、味はとても良く順調に成長しているそうです。わたしたちが視察させていただいたのは収穫の一番忙しい時期でしたが、おかげでぶどうや桃の収穫直前の状態を知ることが出来ました。ぶどうや桃は虫や病気に弱く、とても注意を払って育てているということでした。

果物自体に雨がつかないように紙の袋をかけたり、雨よけになるカバーをかけています。特に桃の収穫にはとても注意が必要で、力をいれて回してしまうと傷がついてしまい、そこから腐って売り物にならなくなるので、熟練の技が必要とのことでした。

BMW技術を使い、化学合成肥料不使用、化学合成農薬不使用、除草剤使用禁止というとても厳しい基準で育てられていることが、今回の視察を通してとてもよくわかりました。これからもやまなし自然塾の果物を積極的に利用していきたいと思います。

(理事会 今村)



## 『子どもが輝くほめ達の魔法！』

～あなたの周りにはダイヤの原石がいっぱい！～

2016年7月7日

西区民文化センター

講師：ほめる子育て研究所 所長  
竹下幸喜さん

申し込みが募集人数を大幅に上回り、抽選になるほどの人気でした。参加したみなさんが、とても楽しく、元気になる講演会でした。ほめる達人の竹下さんは、「実際に感じることを大切にされ、講義あり、体感ありのお話でどんどん講演会に引き込まれていきました。

「ほめる」ということはどういう事…?など、自分の事としてお話を聞き、具体的に子どもの顔を浮かべたりして、できることを1つでも見つけて帰って実践しよう！と皆が前向きな気持ちになっていきました。子ども達の可能性を種に例えて、“私達が信じて、愛情を持って声をかけることによって芽が出てくる” “「ほめる」の究極は、「この命」に対する「感謝」” “「ありがとう」の反対は「当たり前」” “自分達の「当たり前」のハードルを下げれば下げるほど「ありがとう」が増える”・・・などのお話を聞き、あまりにも感謝の思いが少なかったことを実感しました。

参加者の皆さんの笑い声とたくさんの笑顔に出会えて、とても良い講演会となりました。

(地域福祉全体会 砂本)



講演会の内容を、グリーンコープひろしまのブログ「げんきくんのわくわく日記」にアップしています。ぜひご覧ください♪



熊本地震で被災されたみなさまに謹んでお見舞いを申し上げます。

各県のグリーンコープでは、現地のグリーンコープくまもとの皆さんと共に支援活動を行っています。ひろしまからの支援の一部を報告します。

## 熊本震災支援報告(4/30~5/1)

支援物資運搬に使う車両としてGCひろしまのトラックをGCくまもとに届けること、現地での支援活動に事務局4名で参加しました。災害支援センターにある物資はGCホームページ上にリアルタイムで案内しており、必要とされる物資を必要なだけお届けをすることができていました。避難所として認定されていない場所には物資が足りず、物資を取りに来られた方から現状をうかがい、行き届いていない物資のニーズを聞き取ることもできました。他の県のグリーンコープからもたくさんの支援タオルが集まり、サイズや用途別に仕分けをして被災者の皆さんにお渡ししました。また、益城町にあるグランメッセ熊本の駐車場内では炊き出しを行い、くまもとの組合員の皆さんが用意したカレー、豚汁、サラダ、ジュースなどをお配りしました。中でも、組合員の皆さんが準備をされたサラダは、避難生活では乾物類がほとんどの中、久しぶりの野菜や果物で美味しいととても喜ばれました。

組合員の中にはご自身も被災をされたが炊き出しに参加をされている方もおられ、支援を受けている被災者の方も、配っている組合員の方もお互いがありがとう、気をつけてと声をかけ合っていて、支援をするされるではない支援活動を実感しました。熊本の災害支援はまだまだこれからで、これからもできる支援を続けていきたいと思いました。

(事務局 谷川)



## 熊本震災人的支援報告(4/28~5/1)

場所 小規模多機能ホームほのほの・長嶺 (熊本市東区長嶺東)  
デイサービスセンターゆるりの家・長嶺

労働協同組合グリーンコープ  
在宅福祉ワーカーズほっとはぁーと

「ほのほの長嶺」はデイサービス、訪問、泊まりのサービスを提供しています。スタッフの皆さんはご自身や親族も被災し怖い思いをした中で仕事に出られていました。避難されているスタッフもおられ人員不足で心身共に疲労困憊の中、利用者の方の日常のケアを心こめてされていました。みんながやさしく笑顔のケアをされていたので、スタッフへのより一層の精神的、肉体的支援の必要性を強く感じました。

4日間の寄り添いの中で、目や手で小さな合図や意思表示、飲み物の温度や嗜好などが読み取れるようになると、利用者の方々は、少しずつ表情を和らかくしてくださるようになりました。支援の間、スタッフにも気を使わせない動きができること、そのようなひと時をつくることのできたとしたらそれが私たちの人的支援であったと思います。支援に行った私たちも日常の有難さに気付かされ、この度の機会を与えられたことに心から感謝しました。ありがとうございました。

(ほっとはぁーと 佐々木)

### ☆ふくし情報でんわ☆

「用品の選び方や使い方」「子育てや介護保険の情報」などで「困ったな?」と思った時にはお気軽にお電話ください!

フリーダイヤル  
(FAX兼用)

0120-118742

開設:月~金  
10:30~15:30  
(土・日・祝祭日休み)



社会福祉法人グリーンコープ

助け合いワーカーズでは「困った」を抱えた人の「介護、障がい福祉サービス、家事全般、託児」を「やさしい手」で心を込めたお手伝いをしています。

西区・佐伯区廿日市エリア

はぁーとネット

〒733-0871  
広島市西区高須  
2丁目2-28

TEL 082-942-0778

安佐北区・安佐南区・東区・南区・  
中区・安芸区エリア

めーぶるネット

〒731-0102  
広島市安佐南区川内  
6丁目20-5

TEL 082-870-4652

デイサービスセンター  
夢\*グリーン  
(082) 942-5821

●住所  
〒733-0871  
広島市西区高須  
2丁目2-28

デイサービスセンター  
楓\*グリーン  
(082) 555-8341

●住所  
〒731-0102  
広島市安佐南区  
川内6丁目20-5

<利用時間>  
毎週 月・火・水・木・金  
(土日はお休み)  
時間 9:30~16:00

# 事務局報告 <2016年度 仲間作りの様子>

- (1)2016年度の仲間作りの経過は右表の通りです。
- (2)計画に対しての遅れが少し大きくなりつつあります。
- (3)様々なイベントに出展をして、グリーンコープを知っていただくようにしています。
- (4)また、メディア(ラジオCM・テレビCM)などの露出も高めています  
が、それ以上に組合員さんからの紹介もお待ちしております!
- (5)ご親戚やお知り合いの方で、未だグリーンコープを試したことの  
ない方がいらっしゃいましたら是非、ご紹介をお願いいたします。

7/15までの実績	登録組合員数	仲間作り目標	仲間作り実績	達成率
西支部	6,550	1,065	327	30.7%
中央支部	6,385	1,205	369	30.6%
東広島支部	4,265	705	250	35.5%
福山支部	3,478	640	280	43.8%
ひろしま	20,678	3,615	1,226	33.9%



## 配送担当者を紹介しま〜す♪ 東広島支部

◆お名前：村岡 享 (むらおか とある)

◆配達地区：東広島市

◆出身地：広島県福山市

◆趣味：バイクでツーリング

◆好きなアーティスト：THE YELLOW MONKEY (再結成、おめでとうございます!)

◆休日の過ごし方：バイクで遠出します。東広島周辺でおススメスポットがあったら、教えてください。

◆配送担当時の心に残ったエピソード：初めて自分の力だけで加入して頂いた組合員さんの事。その方は残念ながら脱退されてしまいましたが、最後に「会うのが楽しみでした」と書かれた手紙を読んだ時、心の底から嬉しかったです。

◆配送に出て嬉しかった事：先週出来なかった事が次の週に出来るようになったり、自分の成長を実感できる事。

◆好きなGC商品：餃子(徳用) 休みの日に必ず食べます!

◆組合員さんにひとこと：牛乳一本から超豪華サーロインステーキまで雨が降ろうが、風が吹こうが、必ずお届けします! また困った事や気になる事があれば、何でもご相談ください。よろしくをお願いします。

◆東広島支部副支部長からひとこと：とても真面目で、頑張り屋さんです。ちょっと声が小さいので、人付き合いが苦手そうなのですが、実は話好き! ウンチクもたくさん知っているんです。一言で言うと噛めば噛むほど味が出る昆布みたいな感じの人です。(市川副支部長談)



フリーダイヤル

0120-14-0586

受付時間:月~金 9:30~16:30(土・日・祝日休み)

- \*グリーンコープの共同購入カタログに掲載されている商品の原材料や次はいつカタログで注文できるかなどについての疑問・質問にお答えします。
- \*その他の要望やご意見等は従来通り支部もしくは担当者にお問い合わせください。

### てるてる コーナーより



組合員のみなさんから寄せられた質問を、いくつかご紹介します。

#### Q:産直国産牛の他に産直牛と言う名称があります。違いは何ですか?

A:「産直国産牛」の他に、「産直興農牛」と「産直和牛肥後あか牛」があります。「産直国産牛」は、岡山ふたみ牧場、熊本県新拓農協、菊池地域農協、鹿児島県開拓畜産農協、北海道チクレンの5産地にて飼育されています。種類は、ホルスタインの去勢牛で、飼育期間21ヶ月前後です。飼育期間の主飼料のとうもろこしは、遺伝子組換えしていないもので、更にPHF(収穫後農薬不使用)です。「産直興農牛」は、北海道標津町の興農ファームとの産直です。雄のホルスタインを未去勢(メスも一部います)で飼育し16ヶ月程度で出荷します。脂身が少ないのが特徴です。この農場での飼育期間における飼料は全てnon-GMOで、更にとうもろこしはPHFです。「産直和牛肥後あか牛」は、南阿蘇畜産農協の生産者との産直です。子牛(3~4割程度)の時は放牧し、健康な体作りを行っています。阿蘇地域の粗飼料(ワラ、乾草)を十分与え、飼育期間は24ヶ月前後です。

# わたしの おすすめレシピ

## うなたま素麺



### 【材料】(2人分)

- そうめん・・・三束
- うなぎの蒲焼き・・・1/2尾
- 温泉たまご・・・2個
- きゅうり・・・1本
- トマト・・・半分
- そうめんつゆ・・・200cc



### 【作り方】

1. きゅうりはすりおろし、軽く水気をきる。
2. トマトを食べやすい大きさにカットする。
3. うなぎは1.5cm幅のそぎ切りにし、半分に切る。
4. そうめんはゆでて、サルにあげ、流水でもみ洗いをし、最後に氷水にさっとつけ、水気をきる。
5. 涼しそうな器にそうめんを盛りつける。
6. 1~3のきゅうり、トマト、うなぎをのせ、温泉卵をトッピングする。
7. そうめんつゆをお好みでかけていただく。

### \*温泉卵の簡単な作り方\*

- ① 蓋つきの鍋に1ℓの湯を沸かす。
- ② 沸騰したら、鍋を火からおろして1カップの水を入れて卵を投入し、蓋をして12分待つ。
- ③ 12分経ったらすぐにお玉で取り出し3分待つてできあがり。

(おすすめ委員 今村)

## エコdeグリーン 私の暮らし術

白いポロシャツやシャツ、シーツなどが黄ばんで困ることはありませんか?グリーンコープのせっけんで、安心・安全・簡単にきれいにすることができます。

### 『パワフルつけ置き』を紹介します!

- ・酸素系漂白剤 小さじ2
  - ・粉せっけん 小さじ1
  - ・お湯(50℃くらい) 1ℓ
- 洗濯物の量に応じて、(割合は守って)増減してください。

1. たらい等の容器(テフロン加工、アルミ製は使えません)にお湯を入れ、酸素系漂白剤と粉せっけんをよく溶かす。
2. 洗濯物を20分~1晩くらいつけて置く。
3. 手洗いまたは、洗濯機でよくすすぐ。

これだけで、衣類が真っ白になりとっても嬉しくなりました。我が家では、黄ばみで衣類を処分することがなくなりました。

### ※注意

色柄ものは色落ちすることがあります。目立たないところで試されることをおすすめします。また、プリントものはさけてください。

(くらし委員 山原)

## 私のグリーンコープ ~ my green coop ~

## 9月

- 5日(月) 中央支部東部地区委員会「遺伝子組み換えルーレットDVD上映会」(二葉公民館)
- 7日(水) 福山支部理事会「げんキープミニ試食会」(福山支部)
- 7日(水) 中央支部北部地区委員会「遺伝子組み換えルーレットDVD上映会」(可部公民館)
- 8日(木) 中央支部備北地区委員会「チョコレートワークショップ」(三次ふれあい会館)
- 12日(月) 福山支部理事会「ヘナの学習会」(福山支部)
- 13日(火) 東広島支部理事会「子ども料理教室」(東広島支部)
- 13日(火) 西支部理事会「岡鹿工場見学」(山口県防府市)
- 14日(水) 西支部東部地区委員会「ハンドトリートメント(彩生舎)」(げんきくんひろば)
- 15日(木) 西支部地域福祉委員会「突然の介護~その時あなたはどうしますか?~」(夢サロン)

- 16日(金) 西支部西部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(串戸市民センター)
- 25日(日) 「ハッピーフェスタwithママンパール」(中小企業会館)
- 26日(月) 西支部理事会「規格外青果販売&げんきくん号」(西支部)
- 28日(水) 西支部くらし委員会「せっけんびよりカフェ」(げんきくんひろば)

## 10月

- 1日(土) 中央支部理事会「ぐりんままつり」(中央支部)
- 2日(日) 「はつかいち環境フェスタ」(廿日市市・ゆめ桜公園)
- 5日(水) 中央支部理事会「子ども料理教室」(中央支部)
- 6日(木) 福山支部理事会「げんキープ周年祭」(福山支部)
- 9日(日) 「環ッハッハinよしじま」(広島市環境局中工場)
- 12日(水) 西支部おすすめ委員会「国産小麦粉学習会(仮)」(げんきくんひろば)
- 12日(水) 中央支部中部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(大塚公民館)
- 13日(木) 東広島支部理事会「ほっとる一むくろグリ4周年まつり」(東広島支部)
- 13日(木) 中央支部北部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(可部公民館)
- 17日(月) 西支部理事会「規格外青果販売&げんきくん号」(西支部)
- 19日(水) 中央支部理事会「Welcomeカフェ」(段原公民館)
- 21日(金) 東広島支部理事会「瀬戸田レモン産地見学」(瀬戸田町)
- 26日(水) 中央支部理事会「いわみ野菜クラブバスツアー」(島根県浜田市)
- 28日(金) 東広島支部北部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(下見福祉センター)

### 行事予定



チラシをよく見て  
みんなて参加しよう!!

※場所、タイトルは変更になる場合があります。詳しくは、配送チラシをごらんください。